OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	阪大法学 64巻 6号 表紙
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2015, 64(6)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/71554
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ISSN 0438-4997

阪大法学

論　　説

収入金額の計上時期に関する実現主義の意義
——判例分析を中心に——……谷口勢津夫…　1

英国FCAによる市場濫用規制のエンフォースメント……松尾　健一…　31

韓国における公共調達制度の現状と改革（一）
——ドイツと日本の制度から示唆を得て——……金　守弘…　67

家庭内暴力加害者への対策
——治療プログラムを中心に——……金ジャンディ…103

刑事手続打切り論についての一考察（三・完）
——医療過誤の刑事責任限定論を契機として——……岩﨑　正…131

公法学におけるコントロール概念の展開（二）
——ドイツにおける一九九〇年代以降の議論——……柴田　堯史…153

インダス川水系キシェンガンガ計画事件判決の国際法上の意義（一）
——水力発電計画の合法性及びダム下流における河川環境の法的保護——……鳥谷部　壌…173

ウィリアム・オブ・ドロエダと『黄金汎論』（二・完）
——法格言 scienti et volenti non fit iniuria の原点を訊ねて——……松本　和洋…199

行政による規範定立の再定位（一）
——法規命令と行政規則の法的拘束力の観点からみた再構築——……宮村　教平…239

ドイツ連邦行政裁判所の「憲法判断」の考察（二・完）
——行政法の解釈・適用における憲法の機能——……原島　啓之…259

判例研究

別除権協定の失効とその効果（最判平成二六年六月五日民集六八巻五号四〇三頁）
——裁時一六〇五号一頁、判時二二三〇号二六頁、判タ一四〇四号八八頁、金法二〇〇七号六〇頁、金判一四四五号一四頁——……藤本　利一…295

翻　　訳

中国公安部「公安機関行政事件処理手続規定」……坂口　一成…309

資　　料

東アジアにおける法学部教育の可能性（二・完）
——What is 'legal' Education?——……林　智良…367

わが国における法学部教育の状況……三成　賢次…368

東アジアにおける法学部教育の可能性
——韓国の事例——……朴　賢京／金　明珉／訳…383

中国における法学教育の検証
——その本質・役割およびその改革——……丁　相順…416

日越憲法比較シンポジウム——転換期における憲法と社会…松本　和彦…437

日本の違憲審査制の現状と課題
——制度改革をめぐる議論を中心に——……鈴木　秀美…439

日本の裁判所の憲法上の構造と最近の「ささやかな」司法積極主義……高井　裕之…453

ナショナルな立憲主義のジレンマ……松本　和彦…467

阪大法学六四巻総目次

第64巻　第6号　（2015年3月）

（通巻第294号）

大阪大学法学会

大阪大学法学会役員

（五十音順）

評議員長　竹中　浩
評議員　青江秀大　青木辰夫　池田大也　石田規子　大久保剛　笈川尚専　小野木昇　門之進　上村龍　北戸衛　木下大作　久保田彦　久保安典　小嶌由明　坂口一起　坂元成一　佐久間修　重井忠史　品川智　島下輝　鈴木貞　砂原庸介　髙田秀美　髙橋裕　髙橋慶明　髙橋智也　髙口吉男　滝口篤之　武田宣剛　武田邦雄　武田直仁　田中規久　田中勢津夫　谷口大

評議員　茶園成樹　床谷文雄　中山竜一　長田真里　名津井吉裕　野呂恒夫　野村美明　林長谷川佳彦　平田智良　福本康治　藤井健一　ペドリサ・ルイス利彦　松尾和彦　松川正毅　松本岳士　松田弘彦　三阪佳男　水谷郁子　水島規男　村上正太　村西賢次　山下真直　養老孝一　林田健太郎　石橋良剛　高保明作　大久保規子　大谷男修　久間大　佐水

編集委員　〃
企画委員　〃
会計委員　〃
会計監査　〃

平成二七年三月三一日　発行　定価本体二、〇〇〇円（税別）

編集兼
発行人　大阪大学法学会
代表者　竹中　浩
〒五六〇―〇〇四三　豊中市待兼山町一番六号
大阪大学大学院法学研究科内
電〇六（六八五〇）五一七八

印刷所　㈱冨山房インターナショナル
〒六〇一―八三四六　京都市南区
吉祥院池田南町二三

発行所　大阪大学法学会
〒五六〇―〇〇四三　豊中市待兼山町一番六号
大阪大学大学院法学研究科内
電〇六（六八五〇）五一七八